支えあいのまちづくり協議体（京橋地域）実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う**「支えあいのまちづくり協議体（第２層協議体）」**の令和４年度第４回目を、京橋地域で開催しました。

１　実施日
令和５年２月３日（金）10:00～11:30

２　出席者
日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター　８名

３　内容
・出席者近況報告
・令和４年度中央区地域支えあいづくり協議体の実施報告
・意見交換　①広報紙「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」について
　　②高齢者が集まる社会資源把握のためのアンケートについて

４　出席者近況報告の要旨
メンバーが昨年 12 月より、児童・民生委員に選任され、日々、業務の難しさを感じていること、おとしより相談センター主催で専門職を対象としたグリーフケアの講座を開催したところ、現場での貴重な様子や話を聞け、今後に繋げていきたいとの共有があった。また、２月から健康麻雀の支部長に就任し忙しい毎日を送っていることや、支援者として対応してきた相談も自身の家族の状況と重なる面が多くなっており、より良い支援が出来るよう努めていきたいというメンバーもいた。施設内でも“麻雀をやりたい”という声が非常に多く上がっているため、フェイスシールドを付けて行っていること、また、デイサービスでは新型コロナウイルス以外の体調不良者が増加したため、体調に留意しながら注意して行っていることなどが共有された。

５　<u>意見交換　①広報紙「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」の取材先について</u>
コーディネーターより、第５号にインタビューを予定していたマイホーム新川について、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、取材は延期になっている。今後の感染状況を見て、取材には伺う予定。代替案を事務局から提案するよりも、メンバーと意見を合わせた案を提示していきたいという思いから、第５号を延期していることを説明。今後のインタビュー先として、今までは公共施設の取材が多かったため、それ以外でのメンバーの伝手がある場所などを紹介してもらうことでより地域性が出る情報発信になるのではないかと思っている旨を共有。取材先について以下の案が挙がった。

「きらきらいふ京橋人～ゆるっとつながる～」について

<前回挙がった案>
・マイホーム新川
・喫茶アラジン
・でこぼこカフェ

<今回>
・今田商店（酒屋）
→旦那さんが元（？）町会長、奥様は自身の両親のために居酒屋のスペースを使って人が集まるような催し物を企画している。交流会？お楽しみ会？のようなものを夕方から行っている。歌を歌ったり角打ちを行っている。昼間はママ友が出入りしている。
・俳句の会：京橋地域を回り、一句作る会。取材することで何か違うものが出来るかもしれない。
→取材にご協力してくれそうであれば候補の一つとして検討。
・【健康麻雀の会】ひだまり会（賭けない、飲まない、吸わない）：桜川敬老館で行われている健康麻雀の講座を受講した卒業生が陽だまり会に入会。講座は週１回４時間、半年で終了するというもの。

意見交換　②高齢者が集まる社会資源把握のためのアンケートについて

前回の意見交換を踏まえコーディネーターより、アンケートの大枠案を提案。設問の文言や回答を選択式にするのか、記述式にするのかなど詳細について意見交換を行った。

高齢者が集まる社会資源把握のためのアンケート調査について

＜アンケートの内容に関して＞

- ✓ 候補がいくつかあった上で選択させた方が良いのではないか。読んでいくことが億劫であり、ごちゃごちゃしていると読みにくい。
- ✓ 回答を記入する方式よりは選択式の方が簡単で答えてくれると思う。文字をたくさん書くのは面倒くさい。文字の大きさも大事になってくるのではないか。
- ✓ 通いの場は原則、その場所に歩いて行けることが条件となってはいるが、場によっては、日常生活圏域外の方が参加していることも多い。
- ✓ 「①ここに来るようになったきっかけを教えてください。」の選択肢として「友人の紹介」や「区役所からの紹介」「たまたま見に来た（通りかかった）」など入れた方がいい。
- ✓ 「②普段出かけるところの魅力を教えてください。」では、「コンビニ」や「み乃り屋さん」などをいれてはどうか。今のアンケート内容では現状について聞く内容しかない。今思っていることを聞き取れるような項目があってもいいのではないか。
- ✓ 何を知るためのアンケートなのか、目的や背景をきちんと伝えた方がよい。
- ✓ 対象や人数、規模でアンケート内容を変える必要があるのか？隅田川テラスや銭湯など、不特定多数の方の出入りがある場所で中々立ち止まって記述式のアンケートをしてもらうのは、ハードルが高いと思う。その場合にはインタビューなど口頭で答えてもらう方がいいと思う。
- ✓ 講座やカフェなどの時間であっても、時間が許すのであればできるだけインタビュー形式で答えてもらった方が、話の内容的にも箇条書きで書かれるよりも参考になる意見が得やすいのではないかなと思う。

➡ 以上の意見を踏まえ、一度試行的に実施することとなった。

６　今後のスケジュール

次回は令和５年４月後半開催予定。アンケートの結果報告等について協議することとなった。

＜参考＞　意見交換の様子